

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年7月21日)

- 1 平成26年観光客入込動態調査結果の概要について
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 鳥取県教育旅行誘致協議会の設立について
【観光戦略課】・・・5ページ
- 3 「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の寄港状況について
【観光戦略課】・・・6ページ
- 4 全米知事会サマーミーティング参加等のための知事訪米について
【交流推進課】・・・7ページ
- 5 フランス・ジャパンエキスポとミラノ国際博覧会への出展結果
について
【まんが王国官房】・・・8ページ

観光交流局

平成26年観光客入込動態調査結果の概要について

平成27年7月21日
観光戦略課

1 概要

平成26年の観光入込客数(実人数)は、平成25年に比べ825千人(7.6%)減少し、10,084千人となった。また、宿泊者数は平成25年に比べ233千人(8.5%)減少し、2,497千人となった。

(出雲大社の遷宮効果の反動による減。ただし、宿泊人数は、平成27年1~3月(暫定値)では、蟹取県改名効果やウェルカニキャンペーンにより平成26年の519千人に比べて増加(+7.1%、+37千人。)

外国人宿泊者数は平成25年に比べ11千人(31.3%)増加し、48千人となり過去最高となった。

2 詳細

(1) 観光入込客数

- ・観光入込客数(延人数)：18,490千人(対前年▲144千人、▲0.8%)
- ・観光入込客数(実人数)：10,084千人(対前年▲825千人、▲7.6%)
- ・発地別に見ると、県外からの入込客が減少し、県内観光客が増加。
- ・団体バスによる入込の減が大きく、県外の観光客が減少。
- ・平成25年に開催された都市緑化フェアも、対前年減の原因の一つ。

(2) 宿泊客数(宿泊旅行統計調査(観光庁実施の全国統一基準調査)による。)

- ・宿泊者数は前年に比べ233千人(8.5%)減少し、2,497千人となった。
(平成24年(2,345千人)と比較すると+152千人、+6.5%)
- ・温泉地入湯客数は、全体として82千人減(▲6.9%)
- ・宿泊の減については、出雲大社平成の大遷宮の影響の反動減が大きいと考えられる。

(3) 地域

- 鳥取梨の花温泉郷周辺が増加
白壁土蔵群・赤瓦 +43千人
- 浦富海岸・岩井温泉周辺、境港周辺が大きく減少。
浦富海岸・岩井温泉周辺：海水浴場▲43千人
境港周辺：水木しげるロード▲517千人

(4) 外国人宿泊客数(宿泊旅行統計調査(観光庁実施の全国統一基準調査)による。)

- ・外国人宿泊者数：48千人(対前年+11千人、31.3%)
- ・国籍別：韓国20,620人(対前年+4,040人)、台湾10,570人(対前年+3,540)、中国3,140人(対前年+670人)

(5) 観光消費額(全国入込客統計に関する共通基準(観光庁実施の全国統一基準調査)による。)

- ・観光消費額：79,288百万円(対前年▲3,583百万円、▲4.3%)

3 各種データ

(1) 県外県内別観光入込客数(延べ人数)

(単位：千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成26年 構成比
	平成26年	平成25年	増減数	率	
県外観光客	13,849	14,665	▲816	94.4	74.9
県内観光客	4,641	3,969	672	116.9	25.1
合計	18,490	18,634	▲144	99.2	100.0

(2) 県外県内別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成26年 構成比
	平成26年	平成25年	増減数	率	
県外観光客	6,595	7,759	▲ 1,164	85.0	65.4
県内観光客	3,489	3,150	339	110.8	34.6
合計	10,084	10,909	▲ 825	92.4	100.0

(3) 地域別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

広域エリア名	観光入込客数(千人)		対前年比	
	平成26年	平成25年	増減数	率(%)
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	2,890	2,939	▲ 49	98.3
浦富海岸・岩井温泉周辺	152	215	▲ 63	70.7
八頭	218	222	▲ 4	98.2
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,390	1,347	43	103.2
東伯耆周辺	738	751	▲ 13	98.3
米子・皆生温泉周辺	1,394	1,536	▲ 142	90.8
境港周辺	1,877	2,411	▲ 534	77.9
大山周辺	1,274	1,325	▲ 51	96.2
奥日野周辺	151	164	▲ 13	92.1
合計	10,084	10,909	▲ 825	92.4

(4) 月別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成26年	656	502	733	746	1,089	698	859	1,510	867	828	958	639	10,085
平成25年	611	537	708	814	1,153	732	921	1,902	867	970	976	718	10,909
増減数	45	▲ 35	25	▲ 68	▲ 64	▲ 34	▲ 62	▲ 392	0	▲ 142	▲ 18	▲ 79	▲ 824
率	107.4	93.5	103.5	91.6	94.4	95.4	93.3	79.4	100.0	85.4	98.2	89.0	92.4

(5) 月別宿泊者数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成26年	165	152	202	182	230	184	208	296	214	221	246	197	2,497
平成25年	159	170	193	183	235	197	239	337	238	271	288	220	2,730
増減数	6	▲ 18	9	▲ 1	▲ 5	▲ 13	▲ 31	▲ 41	▲ 24	▲ 50	▲ 42	▲ 23	▲ 233
率	103.8	89.4	104.7	99.5	97.9	93.4	87.0	87.8	89.9	81.5	85.4	89.5	91.5

※出典:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

(6) 発地別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

地域名	平成26年	平成25年	増減数	平成26年 構成比
北海道・東北	45	47	▲ 2	0.4
関東	531	561	▲ 30	5.3
中部	313	413	▲ 100	3.1
近畿	2,857	3,441	▲ 584	28.3
中国	2,306	2,645	▲ 339	22.9
四国	389	478	▲ 89	3.9
九州・沖縄	154	174	▲ 20	1.5
県内	3,489	3,150	339	34.6
合計	10,084	10,909	▲ 825	100.0

(7) 利用交通機関別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人)

交通機関	平成26年		平成25年		増減数	
	県外客	県内客	県外客	県内客	県外客	県内客
貸切バス	774	58	1,189	59	▲ 415	▲ 1
路線バス	245	58	230	46	15	12
列車	513	40	637	36	▲ 124	4
飛行機	244	—	—	—	244	—
自家用車	4,483	3,090	5,218	2,807	▲ 735	283
タクシー	53	3	59	4	▲ 6	▲ 1
その他	283	240	426	198	▲ 143	42
小計	6,595	3,489	7,759	3,150	▲ 1,164	339
合計	10,084		10,909		▲ 825	

※H26年より項目に飛行機を追加。平成25年以前は「その他」に含まれる。

(8) 温泉地入湯客数

(単位:人、%)

温泉地名	入湯客数		対前年比		平成26年 構成比
	平成26年	平成25年	増減数	率	
鳥取温泉	74,450	77,560	▲ 3,110	96	6.7
吉岡温泉	28,677	29,719	▲ 1,042	96.5	2.6
岩井温泉	13,545	14,466	▲ 921	93.6	1.2
浜村温泉	5,255	5,435	▲ 180	96.7	0.5
鹿野温泉	17,016	17,370	▲ 354	98	1.5
はわい温泉	129,843	140,149	▲ 10,306	92.6	11.7
東郷温泉	29,850	31,871	▲ 2,021	93.7	2.7
三朝温泉	366,506	388,733	▲ 22,227	94.3	32.9
関金温泉	19,829	14,845	4,984	133.6	1.8
皆生温泉	427,837	474,858	▲ 47,021	90.1	38.4
合計	1,112,808	1,195,006	▲ 82,198	93.1	100

※入湯税から算出

(9) 国籍別外国人宿泊者客数

(単位：人、%)

国籍	宿泊者数		対前年比		平成26年 構成比
	平成26年	平成25年	増減数	率	
韓国	20,620	16,580	4,040	124.4	42.5
中国	3,140	2,470	670	127.1	6.5
香港	3,660	3,560	100	102.8	7.6
台湾	10,570	7,030	3,540	150.4	21.8
アメリカ	3,170	2,030	1,140	156.2	6.5
カナダ	190	100	90	190.0	0.4
イギリス	250	180	70	138.9	0.5
ドイツ	600	170	430	352.9	1.2
フランス	290	200	90	145.0	0.6
ロシア	820	210	610	390.5	1.7
シンガポール	430	130	300	330.8	0.9
タイ	710	210	500	338.1	1.5
マレーシア	160	280	▲ 120	57.1	0.3
インド	90	10	80	900.0	0.2
オーストラリア	490	260	230	188.5	1.0
インドネシア	110	10	100	—	0.2
ベトナム	140	10	130	—	0.3
フィリピン	80	10	70	—	0.2
その他	2,810	2,670	140	105.2	5.8
不明	140	790	▲ 650	17.7	0.3
合計	48,470	36,910	11,560	131.3	100.0

※出典：「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

※インドネシア、ベトナム、フィリピンについては平成25年から分類を開始

(参考) 観光消費額 (出典：全国入込客統計に関する共通基準(観光庁実施の全国統一基準調査))

年度	観光消費額(百万円)				合計
	県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
平成26年	6,578	5,066	29,563	38,081	79,288
平成25年	3,889	3,466	35,719	39,797	82,871
差引	2,689	1,600	▲ 6,156	▲ 1,716	▲ 3,583

鳥取県教育旅行誘致協議会の設立について

平成27年7月21日
観 光 戦 略 課

1. 経過と取組趣旨

本県における教育旅行の誘致実績は少しずつ伸びているが、教育旅行市場側からは、教育旅行への取り組み姿勢や熱意、他県にないメニューの積極提案など県全体としての動きが見えないとの指摘もあり、県としてまとまった形でのプロモーションや様々なニーズにワンストップで対応できる受地体制の整備等の機運が高まった事から「鳥取県教育旅行誘致協議会」を設立した。

2. 設立総会の開催概要

◇期日 平成27年6月26日(金) (午後2時30分～午後6時30分)

◇会場 エキパル倉吉多目的ホール(倉吉駅交流センター1階)

◇参集範囲

県、市町村、観光協会、旅館組、広域観光団体、観光・宿泊施設(民泊含む)など

◇内容

①設立総会

- ・経過、趣旨説明
- ・会則、役員、平成27年度事業計画の審議、承認

②研修会

- ・アドバイザー(顧問)によるミニ講演〔日本修学旅行協会嘱託 中野瑞枝氏(鳥取在住)、全国修学旅行協会大阪事務局部長 瀧本厚志氏〕

③交流会

県内各地域の取組が、共通テーマのもとに内容の充実発展を図る上で顔の見える関係を築くことが肝要であることから、情報交換、相互交流の場を実施。

3. 部会設置について

◇受入態勢の充実、効率的な誘致活動の展開のため以下部会を構成(予定)

- ①体験学習部会・体験系メニューの開発やメニューを組み合わせたプログラミング、安全ガイドラインの策定など
- ②旅館・ホテル部会・ガイドライン(安全対策、アレルギー対策)の策定、受入に必要な知識技能の研修、受入施設の拡大など
- ③民泊部会・同上
- ④誘致部会・効果的な誘致活動の検討、情報説明会、キャラバン等の実施

4. 今後の展開

◇第1回合同研修会及び合同部会の開催

<開催概要>

期日等:7月22日(水) 午前10時～午後3時(於:北栄町北条農村環境改善センター)

内 容:全体オリエンテーション、講演(教育旅行先進地からのレポート(徳島県))
各部会(取組テーマ、進め方等) 等

◇関西圏における鳥取県教育旅行情報説明会の開催(9月中旬) など

「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の寄港状況について

平成 27 年 7 月 21 日
 空 港 港 湾 課
 観 光 戦 略 課
 境 港 管 理 組 合

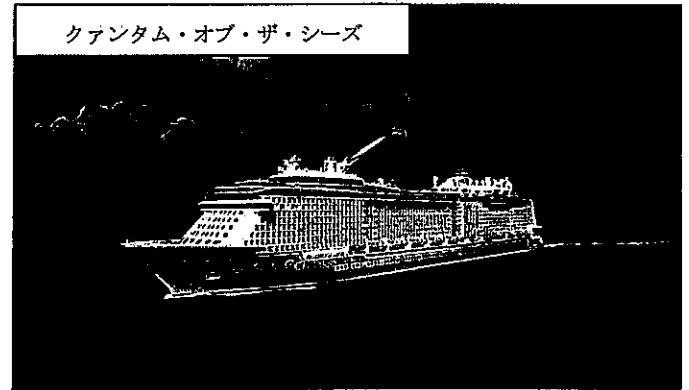
○先日、今年アジアデビューした最新鋭の大型クルーズ船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」が境港に初寄港しました。境港に入港したクルーズ船では最大の大きさ（167,800トン）であり、約4,700人の乗客が、境港を訪れました。（日本国内の港では、博多港（福岡県）に次いで2番目の寄港でした。）
 ○オプションツアーで116台のバスを運行し、観光・ショッピングを楽しんでいただきました。

1 寄港の状況

- (1) スケジュール：入港7月2日（木）12：00、出港20：00
- (2) 寄港場所：境港市昭和町（昭和南1号、2号岸壁）
- (3) 運航ルート：上海－博多－境港－上海（ラストポート）
- (4) 乗客数：4,689人（中国他）

・中国	4,565人
・オーストラリア	26人
・アメリカ	24人
・香港	16人
・台湾	9人
・フィリピン	9人
・日本	8人
・その他	32人

※人数は、予約数である。



2 オプションツアー（バス計116台）

ショッピングを中心にツアーを造成（うち県内84%）

- (1) イオン日吉津～夢みなとタワー（50台）
 - (2) イオン日吉津（12台）
 - (3) 由志園～イオン日吉津（36台）
 - (4) 由志園～イオン松江（15台）
 - (5) VIP他（3台）
- } 県内

※今回は旅行会社の案によりどのツアーにも買物が設定された。

3 シャトルバス【クルー送迎用】（バス計4台）

・港～境港駅～竹内（市内観光、ショッピング（プラント5ほか））

※ツアーバス・シャトルバス運行は、渋滞緩和のためイオンへのルートをもつに分けるなど対策をとり、大きな混乱は無かった。

4 岸壁でのおもてなし（一般入場者：約3,200名）

- (1) 観光案内・両替の実施：（入港時）（昭和南1号岸壁）

通訳11名配置：英語9名、中国語2名、両替取扱い約70万円、無料WiFi稼働約300名対応

- (2) 歓迎セレモニー：船内で実施、関係者のみ5.0名程度：副知事出席
- (3) おもてなしイベント：移動販売：飲み物、遊びコーナー
有料体験（手裏剣、絵はがき、草細工、色紙に日本語で名前）
- (4) お見送りイベント：ゆるキャラ（しまねっこ）、がいな万灯、キャンドルナイト

※今回は、スペースの確保が困難であり免税店の出店は無し

5 交通の状況

港の周辺道路では、多くの一般見学者が訪れたため、路上駐車や渋滞が発生しました。

6 今後の境港への大型クルーズ船寄港予定

- 7月22日 「マリナー・オブ・ザ・シーズ」（昨年10月23日に続き2回目）
- 7月27日 「サファイア・プリンセス」（初寄港）

諸元	
総トン数	167,800 t
全長	347.80 m
型幅	41.45 m
喫水	8.53 m
初就航	2014年11月
船籍	バハマ
航海速力	22.00 ノット
施設の概要	
乗客数	4,180 人 (1室2名)
	4,905 人(最大)
客室数	2,090 室

全米知事会サマーミーティング参加等のための知事訪米について

平成27年7月21日
交 流 推 進 課

全国知事会（会長 山田啓二 京都府知事）からの依頼を受けて、全国知事会副会長として、全米知事会サマーミーティングに参加するため、知事が次のとおりアメリカを訪問します。
なお、このたびの訪米では、鳥取県知事としての関係先も併せて訪問します。

1 日 程

月 日	主 な 行 程	備 考 (宿 泊)
7月22日 (水)	ニューヨーク着 ■駐ニューヨーク日本国総領事・大使表敬 ■(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所訪問 ■ニューヨーク鳥取県人会との交流協議 等	ニューヨーク泊
23日 (木)	エレノア(ウエストバージニア州)へ移動 ■米国ダイヤモンド電機(株)訪問 ホワイト・サルファ・スプリングス(ウエストバージニア州)へ移動	ホワイト・サルファ・スプリングス泊
24日 (金)	■全米知事会サマーミーティング	ホワイト・サルファ・スプリングス泊
25日 (土)	ホワイト・サルファ・スプリングスから成田空港へ移動	機内泊
26日 (日)	成田空港到着後、鳥取空港へ移動	

2 訪問先と訪問目的

(1) 全米知事会サマーミーティング

日米の地方政府間の交流を促進するため、日米知事会議の再開をめざして、全米知事会の次期会長等と意見交換を行う。

○オープニングセッション

- ・平成27年7月24日(金)午後0時45分～
- ・ホワイト・サルファ・スプリングス(ウエストバージニア州)

○ユタ州知事(次期会長)主催意見交換会

- ・平成27年7月24日(金)午後4時～
- ・同 上

(2) 関係先訪問

本県の海外展開、観光・物産振興、情報発信、国際交流等での連携の可能性等について、意見交換を行う。

- ・ニューヨーク鳥取県人会
- ・米国ダイヤモンド電機株式会社(ウエストバージニア州) 等

【参考】

○全米知事会(National Governors Association: NGA)

全国知事会のアメリカ版。会長は2大政党から1年交代で選出され、副会長は会長の属さない政党から選出され、副会長が翌年の会長を務めるのが慣例となっている。現在、会長はコロラド州知事のヒッケン・ルーパー氏(民主党)、副会長はユタ州知事のゲーリー・ハーバート氏(共和党)が就任している。

○全米知事会議(年2回開催)

全米知事会が開催する全体会議(年次総会)で、サマーミーティングでは主に各州及び州際の問題に焦点を当てた議論が、ウィンターミーティングでは州・政府間の課題に焦点を当てた議論が展開される。

フランス・ジャパンエキスポとミラノ国際博覧会への出展結果について

平成27年7月21日
まんが王国官房
販路拡大・輸出促進課

世界でも有数の日本文化紹介イベントである「ジャパンエキスポ」と、「地球に食料を、生命にエネルギー」をテーマにミラノで開催中の「ミラノ国際博覧会」に参加し、まんが王国とっとりや食のみやこ鳥取県など本県の観光や物産をアピールしました。

1 ジャパンエキスポの概要

(1) 鳥取県ブース出展概要

- ア 開催期間 7月2日(木)～5日(日)
- イ 開催場所 パリ ノール・ヴィルパント展示会場
- ウ 来場者数 24万7千人(昨年度:5日間で24万人)
- エ 出展内容 谷口ジロー、水木しげる、青山剛昌の3巨匠を中心とした「まんが王国とっとりブース」において、華貴婦人のピンク華麗、梅酒「野花」などの県内産品を出展
- オ 会場の状況 ・谷口ジロー先生のファンは「僕はジローの本を持っている」と話しかけてくるなど認知度が高い。また、やはりコナンは認知度が高かった。
・特にカレーやラーメンはまんがとの親和性が高く、親しみを持ってもらえた。

(2) ステージイベント

- ア 期日 7月4日(土) 12:00～17:00のうち、20分間
- イ 会場 YUZU ステージ(約1千人)
- ウ 概要

ステージイベント「NEO JAPONISM」に知事が出演し、鬼太郎君とコナン君とともにフランス語で鳥取県の魅力をPRした。鳥取県のまんが王国としての魅力に加え、自然や物産、食のみやこを説明した。フランス語で「真実はいつもひとつ。鳥取は素晴らしい。」とコナン君の決め台詞を交えたときなどに聴衆の喝采が起こった。

※このステージは、フランスのCATV「NOLIFE」と同テレビ局で放送されている日本紹介番組「Japan in Motion」・「ESPRIT JAPON」がコラボレーションをして開催したイベント

(3) フランスメディアでのPR

知事がフランスのラジオ番組「JAPAN FM」の公開生中継に参加。アーティストのピンク・ベイビーズとともに、まんが王国とっとりをはじめとしたクールトットリの魅力を伝えた。

※「JAPAN FM」とは、フランス、ベルギー、カナダで放送されているラジオ。J-POPやアニソンなど、若い世代を対象に主に日本のサブカルチャーを紹介している。

(4) 鳥取県産品の商談会

日本料理店「Maizon Kaiseki」「Sachi」「Sous les cerisiers」、お好み焼き「ATSUATSU」、日本食品輸入業者「京子食品」「UMAMI」などを訪問し、梅酒「野花」やネギマンラーメン等のプレゼンテーションを行った。興味を持っていただいたところは、出展業者がそのまま引き続き交渉を継続。



2 ミラノ国際博覧会

(1) ステージイベント

ア 開催日時 7月6日(月) 正午から午後1時まで(現地時間)

イ 開催場所 日本館イベントステージ

ウ イベント内容

- ・知事による鳥取県の紹介スピーチ
- ・鳥取地酒の鏡割り(知事、鳥取県酒造組合岡空会長、和歌山県職員2名、鬼太郎、コナン)と岡空会長による地酒の魅力の紹介
- ・食、観光、まんが等鳥取県の魅力を映像で紹介
- ・クイズ形式による鳥取県の特産品等の紹介、鬼太郎、コナンとの写真撮影会、スイカ、らっきょうの試食と地酒の試飲

エ 来場者数 約100人

オ 来場者の反応

- ・知事のイタリア語スピーチに多くのイタリア人観衆がうなづいたり笑ったりして大好評であった。特に、「真実はひとつ」のポーズで「鳥取においでください」というフレーズに大きな拍手と歓声があった。
- ・その他のイベントも多くの観客が興味深く見入っていた。
- ・スイカ、らっきょうの試食、地酒の試飲は好評であった。
- ・多くの方が笑顔で楽しんでおり、世界に向けた鳥取県の情報発信ができた。

(2) ジャパンサローネ鳥取県ブースでの知事によるトップセールス

ア 開催日時 7月6日(月) 午後3時10分から3時30分まで(現地時間)

※展示自体は7月5日(日)から9日(木)までの5日間

イ 開催場所 ミラノ市内 ステッリーネ宮殿

ウ 鳥取県の出展内容

- ・食の展示(らっきょう、地酒、梨ジュース、スイカ、ピンクカレー等)
- ・民芸品の展示(因州和紙ランプ、淀江傘、バルコスバッグ、伯州綿製品等)
- ・観光PR(三徳山、三朝温泉、鳥取砂丘、大山、山陰海岸等)
- ・まんがPR(鬼太郎・コナングッズ、グッドスマイルカンパニーフィギュア等)
- ・映像による鳥取県の紹介

エ 来場者数 約100人(7月6日の総来場者数は1,358人(ジャパンサローネ実行委員会事務局資料))

オ 来場者の反応

- ・らっきょう、スイカ、の試食、地酒の試飲が好評で「美味しい」と絶賛していた。特に、スイカは好評で来場者の方々は笑顔で嬉しそうに食べていた。
- ・バルコスのバッグのデザイン、機能等が来場者に大変好評であり、「いくらするの?」、「いつから、どこで販売するの?」という問合せが多数あった。

※ジャパンサローネとは、ミラノ万博に合わせて、日本館協賛企業や自治体が出展し、展示・試食などの情報発信を行うイベント。



3 今後の展開

- まんがの認知度を活かした観光PRや物産振興について、今回の取組を踏まえ、ヨーロッパにおける本県の効果的・継続的な情報発信の実施について検討する。
- 欧州からの誘客促進策として、成田・羽田からの国内線乗り継ぎ便利用やJRとの連携などをはじめ、様々な交通手段により首都圏・関西圏から誘客を促進することに併せ、免税店、多言語表記、WIFI環境の整備、欧米向け通訳案内士の育成を含む受入環境全体の向上に取り組んでいく。
また、欧州のメディア媒体を招請し、本県の魅力向上のための情報発信を実施する。
- 県としては、フランスをはじめとした欧州への輸出に取り組む事業者に対して継続的な支援や、現地市場等の動向把握、バイヤーとのネットワーク強化に向けた取り組みを進める。まずは、欧州バイヤーを招へいたセミナーを開催するなどにより、県内事業者が欧州への輸出に取り組みやすい環境づくりを進めたい。また、鳥取県の食・観光・まんが等の情報発信ができるような取り組みについても、検討を進める。